

## 佐賀県多久市及び太良町で確認されたコガタノゲンゴロウの追加記録

内田 大貴<sup>1)</sup>・久保田 潤一<sup>2)</sup>・舟木 匡志<sup>2)</sup>・山元 謙太郎<sup>3)</sup>

*Cybister tripunctatus* recorded in Taku City and Tara Town, Saga Prefecture, Japan.

Daiki Uchida<sup>1)</sup>・Jun-ichi Kubota<sup>2)</sup>・Masashi Funaki<sup>2)</sup>・Kentaro Yamamoto<sup>3)</sup>

- 1) 〒 162-0832 東京都新宿区岩戸町 18 株式会社環境指標生物  
 2) 〒 188-0011 東京都西東京市田無町 3-10-9 特定非営利活動法人 NPO birth 自然環境マネジメント部  
 3) 〒 840-0857 佐賀県佐賀市鍋島町八戸 1135-6

### Keyword:

*Cybister tripunctatus*, Expansion of distribution, Endangered species, River, Water canal

### はじめに

コガタノゲンゴロウ *Cybister tripunctatus lateralis* (Fabricius, 1798) は、水生植物が豊富な浅い止水域や水生植物がない水たまり、河川岸際の植生帯などでも見られるコウチュウ目 Coleoptera ゲンゴロウ科 Dytiscidae の一種である (中島ら 2020)。本種は、水田の農薬散布や土地利用の変化などの影響により国内各地で個体数が減少していたことから、1970 年代以降 2010 年代までは四国や九州の一部、南西諸島のみでしか確実な生息地は残されていないとされていた (西原ら 2006, 2015)。佐賀県においても散発的に記録されていたものの、詳細な生息状況は不明であったことから、2003 年に作成された佐賀県レッドリスト ([https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314125/3\\_14125\\_42525\\_up\\_msx4zw3p.pdf](https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314125/3_14125_42525_up_msx4zw3p.pdf), 2021 年 2 月 15 日現在) では絶滅危惧 I 類種に選定されている。

現行の環境省レッドリスト 2020 (<http://www.env.go.jp/press/files/jp/113628.pdf>, 2021 年 2 月 15 日現在) においても、本種は絶滅危惧 II 類に選定されている希少種であるが、2010 年代以降、国内各地で再発見や分布拡大、

個体数の増加が確認されている (荻部 2011 ; 澤田・岩田 2019 ; 太田ら 2020 ; 中島ら 2020 など)。

コガタノゲンゴロウは同属のゲンゴロウ *Cybister chinensis* Motschulsky, 1854 やクロゲンゴロウ *Cybister brevis* Aubé, 1838 などとは異なり、気温の高い状態で幼虫の生存率が増加することが知られており (Ohba et al. 2020)、本種の近年の動態は世界的な環境問題の一つである地球温暖化による気温の上昇との関連も示唆されている (Ohba et al. 2020)。このことから、環境問題を含めた広い視点においても注目されている最中にある。

佐賀県では、三養基郡基山町 (野村 1995)、嬉野市 (西田 1998)、唐津市 (古川 1999)、小城市 (古川 2012)、武雄市 (伊藤ら 2013)、鹿島市 (西田 2014a, 2014b)、佐賀市 (藤井 2012 ; 伊藤ら 2013 ; 宮崎 1991 ; 矢川 2014 ; 矢川 2015 ; 山元ら 2020) で確認されており、近年を中心に県内各地で報告数が増加していることから、生息拡大が顕著にみられる地域の一つでもある。

こうした背景の中、筆者らは佐賀県未記録の

地域である多久市及び太良町において本種を採集した。確認地域の生息環境等に関する知見の蓄積は、長期的な個体群動態と分布拡大要因解明への重要な情報となり得ることから、採集環境と合わせここに報告する。

### 調査方法

採集は両地点ともにD型フレームネット(目合い1 mm)を用いて、回数を定めない掬い取りにより行った。種の同定は森・北山(2002)に従い、標本は採集者の内田が保管している。なお、希少種保護の観点から採集地情報は市町村単位にとどめた。

### 調査結果

太良町の採集地は、河口から直線距離で400mほどの下流部である。河川内堰下の淵に形成されたヨシの群落内部を掬い取ったところ、本種が得られた。なお、採集されたのは1個体のみで、それ以降の調査では採集されなかった。本種のほかに同所的にアメンボ *Aquarius paludum paludum* (Fabricius, 1794) も採集された。

多久市の採集地は、水田横の水路内で水深が約60 cmほどの地点である。倒れ込んだ多数の抽水植物の下ヤクロモ *Hydrilla verticillata* (L. f.) Royle が覆う水路内を踏査し、掬い取ったところ本種が得られた。なお、標本個体は2個体であるが、その他にも多数の個体が確認された。本種のほかに、同所的にヒメミズカマキリ *Ranatra unicolor* Scott, 1874、クロチビミズムシ *Micronecta orientalis* Wróblewski, 1960 も採集された。

### まとめ

本報告で佐賀県中部の多久市、南部の太良町で確認されたことから、佐賀県内では西部の伊万里市や有田町付近を除き、既知記録と合わせほぼ全域に分布していることが明らかとなった。今後は、次期佐賀県レッドリスト更新も予



図1. 本報告で採集されたコガタノゲンゴロウ(太良町産)

定されていることから、更新時の参考になるべく、未発見の地域での生息状況調査が望まれる。

### 謝辞

本報をまとめるにあたり、株式会社テレビ東京及び株式会社huの「緊急SOS!池の水ぜんぶ抜く大作戦」番組関係者の皆様には便宜を図っていただいた。ここに厚く御礼申し上げる。

### 【採集記録】

コガタノゲンゴロウ *Cybister tripunctatus lateralis* (Fabricius, 1798)

佐賀県太良町の河川, 2020年9月27日, 1♂, 内田大貴採集(図1)。

佐賀県多久市の水路, 2020年9月28日, 1♂ 1♀, 内田大貴採集。

### 引用文献

藤井俊介. 2012. 佐賀市富士町音無地区で行われた佐賀自然史研究会第51回観察会で採集

- したコガタノゲンゴロウなどの大型水生甲虫類の記録. 佐賀自然史研究 (17) : 55-56.
- 古川雅通. 1999. 佐賀県七山村池原でコガタノゲンゴロウの死骸を確認. 佐賀むし通信 (194) : 995.
- 古川雅通. 2012. 佐賀県小城市のコガタノゲンゴロウの採集記録. 佐賀むし通信 (256) : 260.
- 伊藤辰徳・多比良修・中原正登. 2013. 佐賀県におけるコガタノゲンゴロウ (コウチュウ目ゲンゴロウ科) の記録が急増. 佐賀自然史研究 (18) : 17-2.
- 苅部治紀. 2011. 分布の再拡大を始めたコガタノゲンゴロウ. 苅部治紀 (編) 2011年度特別展およげ! ゲンゴロウくん~水辺に生きる虫たち~展示解説書. pp.101. 神奈川県立生命の星・地球博物館. 小田原.
- 宮崎武夫. 1991. 前原宏氏採集の水生甲虫類. 佐賀の昆虫 (25) : 286.
- 森 正人・北山 昭. 2002. 改訂版 図説日本のゲンゴロウ. 231pp. 文一総合出版, 東京.
- 中島 淳・林 成多・石田和夫・北野 忠・吉富博之. 2020. 日本の水生昆虫 (ネイチャーガイド). 352pp. 文一総合出版, 東京.
- 西田光康. 1998. 塩田町で得られたコガタノゲンゴロウ. 佐賀の昆虫 (32) : 80.
- 西田光康. 2014a. 鹿島市街地の学校のプールで得られた甲虫類. 佐賀の昆虫 (48) : 625.
- 西田光康. 2014b. 鹿島市七浦小学校内で得られた甲虫類. 佐賀の昆虫 (48) : 626.
- 西原昇吾・苅部治紀・鷲谷いづみ. 2006. 水田に生息するゲンゴロウ類の現状と保全. 保全生態学研究 11: 143-157.
- 西原省吾・苅部治紀・北野 忠・中島 淳・永幡嘉之. 2015. コガタノゲンゴロウ. 環境省自然環境局野生生物課希少種保護推進室 (編). レッドデータブック 2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—5 昆虫類. pp.251. ぎょうせい, 東京.
- 野村周平. 1995. 佐賀県産水生甲虫分布資料. 佐賀の昆虫 (29) : 675-678.
- Ohba S・Fukui M・Terazono Y・Takada S. 2020. Effects of temperature on life histories of three endangered Japanese diving beetle species. *Entomologia Experimentalis et Applicata*, 168 (11) : 808-816.
- 太田圭祐・山崎 駿・富樫和孝・岩田泰幸. 2020. 山梨県におけるコガタノゲンゴロウの記録. さやばねニューシリーズ 40 : 37-38.
- 澤田研太・岩田朋文. 2019. 富山県におけるコガタノゲンゴロウの再発見と既知記録総括. 富山市科学博物館研究報告 (43) : 29-33.
- 矢川慎一郎. 2014. 佐賀市内でコガタノゲンゴロウ 3 個体を採集. 佐賀自然史研究会 News Letter (85) : 6-7.
- 矢川慎一郎. 2015. コガタノゲンゴロウ (コウチュウ目ゲンゴロウ科) を 1 か所で 10 個体採集. 佐賀自然史研究 (20) : 52.
- 山元萌衣・山元麻衣・山元麻美・山元謙太郎. 2020. 佐賀市内本庄江流域で確認されたコガタノゲンゴロウの記録. 佐賀自然史研究 (25・26) : 35-36.